

ボール運動

ここがポイント!

子どもたちが、ゲームの「おもしろさ」を理解することで、自分たちに必要な技能はなにかを考え、具体的なめあてをたてることができます。



パットを使わない簡単なゲームだから、「塁をとれるかどうか」だけを考えればいいんだね。

技能の練習から学習に入ると、その技能の習得が目的になってしまい、なんのための技能なのかをゲームの楽しさと結び付けて理解することができません。

『体育の学習』ではゲームの**おもしろさと技能を関連づけて学習できる構成**になっています。

ひろげる ルールやせめ方・守り方をくふうして、パットレスベースボールをしよう。

ルールのおもしろい①

●ファウルエリアをつくり、ファウルエリアに直接フライを投げ入れるとファウル。ゴロの場合はよい。

ルールのおもしろい②

●コートをせまくしてみよう。
せまくなつたのでアウトにしやすい!

せめ方・守り方を考えよう

せつたいファーストより投げにくから、ファーストより守ろう!
ファーストに守ろう!
1点とるには、セカンドに投げるほうがよい。
投手もそう思うんじゃない?
ファーストに守ろう!

ルールのおもしろい③

●ベースを2つにする。
●ファーストでセーフになった人は、次の打者が投げ入れたらセカンドに走る。
●フライを捕らえたときは、走者はファーストにもどらなければならぬ。
●セカンドに達したら1点。

ふかめる ルールにおうじたせめ方・守り方をくふうして、ティーボールをしよう。

ルールのおもしろい

●パットで打っても手で投げ入れてもよいことにする。
●パットで打つ場合は、ファウルエリアに直接フライを打つてもよいことにする。

守りのくふう

手で投げ入れたほうがいいのか、パットのほうがいいのかよくわからない。
守りのくふうにはどんなものがあるの?

ゲームの中でためてみよう

ボールキャッチのしかた

●ゴロをおとして、体の正面をとる。
●ボールが落ちてくる所にすばやく動き、両手でとる。

送球のしかた

●左足を軽くあげ、右足に体重をうつし、体重をさかせて投げける。
●左足に体重をうつし、左手をさかせて投げける。

バッティング

●こしをおとし、ボールをよく見て打てる。
●思いっきり、速く打つてみよう。
●どうすれば速くまでとばせるかな?

2人組で、ゴロやフライなどを入れたキャッチボールの練習をするのもいいね。

せめ方・守り方のくふうのいい

せめ方

●ゴロのほうから入りやすい。フライは捕らえられらアウトで、走者は速いできない。

守り方

●ボールがとんできたところの人の後ろに走りこんで、ボールが落ちてくるまで守らなければならないようにしよう。(バックアップ)

ティーボールのとき

●正確に点をとるには、手で投げ入れるほうが有利。自衛があるなら、思いっきりパットで打つて一塁に到達せよ。
●手がパットからなやむな。

守り方

●打者が手で投げ入れたらアウトにできるから、すばやく判断しよう。

まとめ

- 三角ベースボールのどんな動きがおもしろかったか話し合う。
- 次のことがよくできたら○、できたら○、できなかったら△をつける。
 - ①みんなと楽しくゲームをすることができた。()
 - ②ルールやせめ方・守り方、練習のしかたをくふうすることができた。()
 - ③ボールキャッチや送球、バッティングが上手にできるようになった。()
 - ④走まりやくそくを守ってゲームができた。()

4

ひろげる **ふかめる** では、ルールの工夫の例や、さらにももしろさを加えたゲームを紹介。個人技能からチームとしてどのような技能を身につければよいか、攻め方・守り方、戦術といった集団技能へと目を向けさせます。

ボールゲーム、またやりたいな!



次は塁を増やしたり、パットを使ったりしてみよう!

もっとみんなで協力して、攻め方や守り方を工夫してゲームをしよう!



攻め方・守り方は31ページの資料を参考にしよう。

